



取手市立こども発達センターでは、

取手市の発達支援の中心的役割を担う施設として、約200人の未就学児とその家族の支援を行っています。不安なことがあれば、いつでもご相談ください。



みんなで一緒に考える支援のカタチ

こどもが通う保育所や幼稚園にスタッフが出向き、先生と一緒にその子が生活しやすい環境を考えます。



家族に寄り添う相談支援

こどもとの関わり方のアドバイスや家族同士の交流の場づくりなど、家族の思いを大切にした支援を行います。



個に合わせた発達支援

個別の計画に沿って、「通園」や「親子教室」「専門職支援」など、こども一人一人に合った支援を行います。



幅広い専門家がこどもと家族を支援

保育士をはじめ、作業療法士、公認心理師、言語聴覚士、社会福祉士、医師など、さまざまな職種スタッフが、こどもと家族を支えます。



「相談してよかった」～その気持ちが未来を変える～

初めての体験が苦手な子ども、遊びの中で自信を育む場所



のぐち 野口さん親子

ことばの遅れがあり、初めての体験が苦手でした。幼稚園の活動では自分から参加することが難しく、心配になり相談しました。

こども発達センターでは、「分からなくても大丈夫」「やってみたら意外と平気」をたくさん経験でき、活動を通じて毎日楽しく過ごせます。気持ちの切り替えやおしゃべりも上手になり、今では元気に幼稚園に通っています。



周りの目が気になったり、ためらいを感じることもあるかもしれませんが、センターに通うことを特別なことと思わずに小さな不安も相談してみてください。

特別なことじゃない！

「相談してよかった」と思える場所



かとう 加藤さん親子

市の1歳6か月児健診で相談した時に、こども発達センターのことを知りました。

センターの先生は、一人一人に丁寧に寄りながら、こどもに合った対応をしてくれます。家での遊び方や関わり方に悩んでいた時も、親身になって相談に乗ってくれたことが心強かったです。そのおかげで、こどもが安心してセンターに通っています。

「支援が必要かもしれない」と感じて、相談することに迷いや不安を感じる方もいると思いますが、センターに通ってマイナスに感じたことはありません。こどもの成長を感じられ、相談して良かったなと思います。



こども発達センターについて

利用までの流れ

- 相談 1. こども相談課または保健センターで、専門の職員が相談に応じます。
- 申請 2. 障害福祉課で通所サービス受給者証の申請。
- 利用 3. どの支援を利用するかを相談し、利用開始。

アクセス

場所 取手市役所分庁舎1階 開所 月～土曜日 8:30～17:15
(西2-35-3) (年末年始・祝日を除く)
電話 85-2610※随時相談・見学は受付中です。
(こども相談課…内線1735、保健センター…85-6900)

センター長からのヒント

あるがままを受け止める

私は幼い頃、運動が大の苦手でした。その苦手意識は、いまだに克服できずにいますが、この経験は誰にでも得意・不得意、強さ・弱さがあるという気付き、そして共感につながり、作業療法士を目指すきっかけになりました。「あるがままの自分」と、「もっとよくなりたい自分」の両方あるのが人間です。まずは、今の自分や、今のこどものあるがままを受け止めることから、「ていねいな発達」を見つめていきませんか。

取手市立こども発達センターは、取手市内のこどもの発達を支え、家族の悩みを受け止めます。共に歩き出しましょう。



取手市立こども発達センター
たなかりょう センター長
作業療法士。茨城県作業療法士会理事。いばらき地べた会会長。